



学校教育目標	未来を切り拓く「生きる力」を身につけた「ときわっ子」の育成
目指す児童像	かしこく やさしく たくましく

### 家庭でのルールがきちんと守られているかチェックしてみましょう



#### 【ICTで学ぶ子供】

メディア（テレビ、ゲーム機、情報端末、等）は、家の人とルールを決めて使用する。  
また、夜9時以降は使用しない。

先日、長崎県内の中学生を札幌市内の自宅に連れ出したとして誘拐の疑いで25才の女性を逮捕したという報道がありました。

2人は交流サイト（SNS）で知り合い、女性が長崎を訪れ飛行機などを使って中学生を札幌市に連れ帰ったということでした。

本校では、定期的には子供達の学校生活の様子を報告する会議を開いていますが、最近、その会議で話題になったのが、子供達のゲームやスマホ、インターネットなどの使い方です。

西海市内小・中学校共通のルールは次の通りです。

メディア（テレビ、ゲーム機、情報端末、等）は、家の人とルールを決めて使用する。また、夜9時以降は使用しない。となっています。

しかし、「夜遅くまでゲームをしていて寝たのが11時だった。」「友達とゲームのことでけんかになった。」「体調不良で学校を休んでいるけれど、ゲームをしている。対戦系のゲームなので、だれが参加しているかすぐわかる。」といった声が聞こえてきます。

学年に応じた指導を行う必要があるという話になりました。

メディアもルールを守って使うと、非常に有益なものになります。また、メディアを使いこなす力は、これからの社会を生きていく子供達にとって必要なものです。

しかし、子供まかせにしてしまい、今子供がメディアをいつどのように使っているか分からなくなってしまうと、最初に書いた報道のような事件につながっていくことも十分考えられます。東京などの大都会の話ではなく、私たちが生活している長崎県と北海道が簡単につながってしまうという所に、怖さを感じます。

皆様のご家庭の様子はいかがでしょうか、子供たちがメディアをいつどのように使っているか保護者の皆様は把握していますか。

この機会に、家庭でのメディア使用のルールが守られているか、チェックをしてみましょう。そして、安心安全なメディア使用について考えてみましょう。

#### 第19回西海市少年の主張大会

1月27日（土）に大島文化ホールにて、少年の主張大会が行われました。本校から、6年生の川口七聖さんが出場しました。とても大きなホールで、緊張する中、これまでの練習の成果を十分に出し切り、立派な主張を述べることができました。主張の最初からどきどきさせられる表現で、聞く人の気持ちをつかみ、もっと聞きたいと思わせるような内容でした。

裏面に発表原稿を載せていますので、ぜひ皆さんもお読みください。



【主張の様子】

「平和な未来を創るために」

ときわ台小学校 6年 川口 七聖

「戦争になると、学校では、平和の学習はしません。戦争の勉強をするのです。」

これは、昨年12月、平和学習のために長崎市を訪れた際に、被爆者の方から聞いた言葉です。

「戦争になると、学校では竹やり訓練をする。飛行機の音を聴き分けるための耳の訓練もする。先生は戦争のことを教える。」

私は、この話を聞いて、信じられない気持ちでいっぱいになりました。私たちは、小学校1年生のときから、学校で平和学習をしています。毎年8月9日には、全校で平和集会を行います。学校で、平和について考えること、平和を願う学習をすることは当たり前のことです。だから、学校で戦争の学習をするなど、想像もつかないことです。しかし、それらは、現実にあった出来事でした。私は被爆者体験講話を聴いて、これらのことをもっと多くの人に知ってもらいたいと考えました。

被爆者体験講話では、戦争中の信じられない話をたくさん聞きました。その中でも強く心に残っていることが二つあります。

一つは、戦争中は、人の命を軽くあつかっていたということです。「きさまの命は鳥の羽一枚よりも軽い。」と言われたそうです。この言葉を私はあまりにも残酷だと思いました。そして、国の勝利のためには、国民一人一人の命は軽いものとみなされたことがとても悲しいと思いました。今の世の中には、病気のために生きてくても生きられない人がいます。それなのに、戦争中は人の命がそんなにも雑に扱われていたことを知り、とても辛く思いました。

もう一つは、戦争中は、今では当たり前のことをぜいたくだとされ、非国民とまで言われたことです。女の人の髪型も自由にはできず、人と人が見張り合って、正直な思いを口にすることもできなかったそうです。言いたいことが言えない世の中、お互いが監視し合う世の中は、どんなに息苦しかったことでしょうか。私には耐えられないと思いました。

私は今、私たちが戦争をしていない日本に生まれてきて、とても幸せだと実感しています。今、平和に生きていられることを心から感謝しています。それが正直な気持ちです。

しかし、世界に目を向けると、地球全体が平和であるとは言いきれません。ロシアとウクライナの問題のように、今も戦争で苦しんでいる人たちが大勢います。その中には、私たちと同じくらいの子供たちや、もっと小さい子供たちがたくさんいます。ニュースで見る戦地の人たちは、みんな、怒ったり、涙を流したりして、苦しみを訴えています。

そんなことが起こっている国がある今、私たちは毎日、学校で勉強したり、友達と遊んだりして楽しい毎日を過ごすことができているのです。それは、やはりとても幸せなことです。

そんな私たちに「平和な未来を創るためにできること」を考えてみました。今日は、三つのことを提案します。

一つ目は、「協力し合うこと」です。一つのことに取り組む際に、みんなが協力し合うことで、お互いのよいところが分かったり、感謝の気持ちが生まれてきたりすると思うからです。その中で、お互いを尊重し合うこと、それが大切だと思います。

二つ目は、「話し合うこと」です。学校でも、小さな争いごとは起きます。どんなに小さな争いごとでも、人はむきになってしまう一面があります。そんなとき、冷静になって、どちらも嫌な思いをしなくてもいいような解決策を見出すことです。暴力に頼ることをしないことが大切だと思います。

そして、三つ目は、「平和の大切さを語り継ぐこと」です。被爆者が高齢化し、生の声を語り継ぐことは難しくなっています。だからこそ、その声を聴いた私たちが、しっかり伝えていくことが大切だと思います。

「学校は戦争の勉強をするところではない。平和の学習をするところである。」そう言えるよう、それが当たり前であり続けられるよう、私たちが頑張っていきたいと思います。



【市長あいさつ】



【表彰】

